

中田

協議会役員が看板を設置



▲交通事故がなくなることを願い、交差点に看板を設置

交通事故ゼロを願って

中田交通安全協議会(佐々木勝(かつし)会長)が4月2日、地区内の交通安全看板の設置作業を実施しました。同地区では、信号機のない交差点での事故が多発していることから、春の交通安全運動週間を前に、特に事故の多い交差点に交通安全看板の設置を行ったものです。看板の設置は、交通事故の防止に願いを込めて、協議会の役員が実施。これまでに設置した看板の点検も行いました。作業に参加した役員は、「悲惨な交通事故が起きないように今後も交通安全を啓発していきたい」と話していました。

迫

ユニカール交流大会が開催



▲目標を定め、慎重にストーンを投じる選手たち

ニュースポーツで交流

佐沼地区コミュニティ推進協議会主催によるユニカール交流大会が4月27日、迫体育館で開催されました。この大会は、誰でも気軽に楽しめるニュースポーツ、ユニカール競技を通して地域住民の親睦と健康増進を目的に実施されているもので、今年で5回目。当日は16チーム総勢88人が参加しました。試合が始まると、各チームとも戦況に合わせて作戦を立てながら、相手チームのストーンやセンターサークルをめがけてストーンを滑らせていました。一投ごとに大きな歓声が上がリ、選手たちの笑顔があふれていました。

今年の活躍を力強く誓う

スポーツ少年団結団式

豊里

市スポーツ少年団豊里支部(佐々木伸雄(のぶお)支部長)の結団式が5月9日、豊里公民館で開催され、6団体から総勢93人の団員がそれぞれのユニフォーム姿で参加しました。各団体の紹介では、団員が日頃の活動内容や今シーズンの目標、指導者や保護者に対する感謝の言葉を述べました。結団式では、各団体を代表して豊里中学校野球スポーツ少年団主将の酒井桂士(けいし)さん(新町)が、今年の活躍を力強く宣誓。会場には各団体の指導者や多くの保護者らが来場し、子どもたちに大きな拍手を送っていました。



▲各団体を代表して元気に力強く宣誓する酒井主将

新たな「遠山荘」が開所

高齢者福祉施設で落成式

登米

震災で利用できなくなっていた登米デイサービスセンター「遠山荘(えんざんそう)」の落成式が5月1日、登米町馬場塚に完成した新施設で開催されました。旧遠山荘は平成5年4月に開所。長年に渡って利用されてきました。震災後は、社会福祉法人恵泉会が運営する別の施設でサービスを提供していましたが、今回新たな「遠山荘」が開所する運びとなりました。落成式では、地域の代表と今年で101歳となる中澤静子(しずこ)さんが利用者代表としてテープカットを行い、新たな高齢者福祉施設の誕生を祝いました。



▲地域の代表と利用者代表によるテープカット

米山

平筒沼公園で桜まつり

桜とステージを堪能



▲会場は常時たくさんの人たちでにぎわいました

「平筒沼ふれあい公園桜まつり」が4月27、28日の2日間、平筒沼ふれあい公園で開催されました。まつりは、平筒沼周辺の桜並木を散策する人や平筒沼Youyou館内に設置した特設ステージでの舞踊や歌謡ショー、お神楽を楽しむ人たちにぎわいました。屋外で行われたよさこい演舞もまつりを大いに盛り上げました。4月15日からは平筒沼ふれあい公園の夜間ライトアップも行われていて、訪れた人たちは美しい桜と平筒沼の自然を堪能しながら、春の訪れを楽しんでいました。

東和

仙台東和会総会が開催

ふるさと東和町に乾杯



▲ふるさとの東和町を思い親睦を深めました

仙台東和会の総会が4月25日、仙台市のパレス宮城野で開催されました。仙台東和会は仙台に住む東和町出身者98人で構成。ふるさとを思う、会員の親睦と融和を図ることを目的に活動しています。総会には、会員のほか登米市から東和町域の市議会議員や関係者ら8人が出席。総会終了後は、小野寺寛一(かんいち)さん(米川9区)による「開拓者及川甚三郎氏について」の講話が行われました。懇親会は、昔話に花を咲かせたり近況を語り合ったりと終始和やかに進められ、最後はふるさとの物産品が当たるビンゴゲームで大いに盛り上がりしました。